

広報すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

6/1
令和4年(2022年)
No.2330

新型コロナウイルスに関する
最新情報はこちらで
ご確認ください

区では、区ホームページやツイッターで、
随時情報をお伝えしています。



新型コロナウイルス
感染症情報
(区ホームページ)



杉並区公式ツイッター
(地震・水防情報等)
@suginami_tokyo

特集

すぎなみのまちづくりの今とこれから Vol.2 ～井草、西荻、高円寺、高井戸地域



☎ 166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 📄 発行: 杉並区 📝 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。
最新情報は、区ホームページまたは区(地震・水防情報等)ツイッターをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



すぎなみの

5月1日号・6月1日号 2カ月連続企画

まちづくりの今とこれから Vol.2

～井草、西荻、高円寺、高井戸地域

区では、杉並区まちづくり基本方針(※)に基づき、道路・公園・鉄道などの基盤整備やみどりの保全と創出、地域の個性を生かした駅周辺のまちづくりなど、さまざまな取り組みを進めてきました。

杉並区まちづくり基本方針では、区を7地域に分け、それぞれの個性を生かした「まちづくりの方向性」を示しています。今号では、5月1日号に続き各地域で現在進行中の主なまちづくり事業をご紹介します。

※杉並区まちづくり基本方針=区の将来の都市のイメージとまちづくりの目標を明らかにするもの。基本構想に基づいて策定しており、今年度改定予定。 杉並区まちづくり基本方針▲

—問い合わせは、都市整備部管理課へ。

地域別のまちづくり事業

西荻地域

- 都市計画道路の整備(補助第132号線)
- 西荻窪駅周辺まちづくり

高井戸地域

- 中央道高井戸インターチェンジのオンランプ(入口)開設支援
- 富士見ヶ丘駅周辺まちづくり



井草地域

- 鉄道の連続立体交差化(西武新宿線)
- 西武線沿線まちづくり

高円寺地域

- 都市計画道路の整備(補助第221号線)
- 不燃化特区の指定

CHECK① 高速道路のアクセス強化

高井戸地域

中央道高井戸インターチェンジのオンランプ(入口)開設支援

富士見ヶ丘駅周辺では、放射5号線の開通や都立高井戸公園の整備、富士見丘小学校の移転・富士見丘中学校の改築など、まちづくりの契機となるさまざまな動きがあります。

区では、この機会を捉え、八王子方面に向かう中央道高井戸インターチェンジ(以下、「IC」)のオンランプ(高速道路の入口)開設に向けて、事業者であるNEXCO中日本の取り組みを支援しています。



Q なぜ今まで整備されていなかったの？

地域の方などから、交通量増加に伴う環境悪化(騒音・大気汚染・交通事故増加等)や富士見丘小学校の児童に与える影響を心配するご意見があり、これまで整備に至りませんでした。しかし、車による騒音・排ガスなど環境に与える影響は以前に比べて少なくなったことに加え、同小学校が富士見丘中学校の隣へ移転することとなったため、区としても開設に向けて事業者の取り組みを支援することとしました。

POINT!

- 現在、高井戸ICには、中央道からの出口は開設されていますが入口はなく、八王子方面に向かうためには永福ICや調布ICを利用することになります。今後のオンランプ(入口)開設により、高井戸ICからの乗り入れが可能になり利便性が向上します。
- 高速道路での物流や車での移動が便利になることに加え、災害時や事故等の非常時には、緊急輸送路として活用することができます。

① 毎月1日号では、区の政策や取り組みを分かりやすく紹介していきます。

CHECK② 道路の拡幅

西荻地域 高円寺地域 都市計画道路の整備

都市計画道路は、道路ネットワークや防災、まちづくりなどの視点から重要な都市基盤です。

区では現在、西荻地域の補助第132号線(約1070mのうち約606m)と高円寺地域の補助第221号線(約290m)の整備に取り組んでいます。西荻地域では、都市計画道路の整備と連携しながら西荻窪駅周辺のまちづくりを進めています。

西荻地域(補助第132号線)

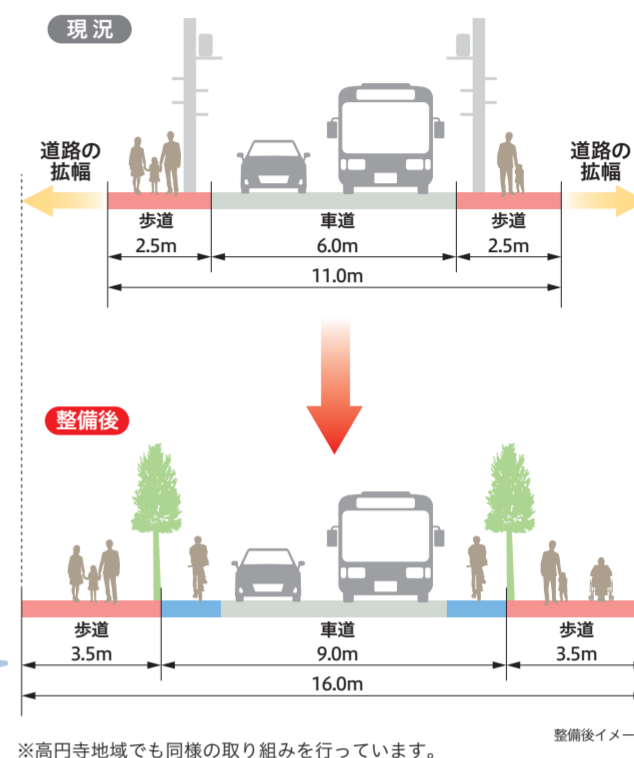


高円寺地域(補助第221号線)



例えば...

西荻地域の現状と整備後のイメージ



POINT!

- 火災の延焼を防ぎ、安全な避難路となります。
- 緊急車両や救援救助活動、物資輸送のための道路空間が確保できます。
- 歩道拡幅や自転車レーンの設置などにより、より安全で快適な歩行空間を確保します。
- 電線類の地中化や緑地帯の整備により、良好な景観形成等を図ります。

Q 駅前再開発をするために、都市計画道路の整備をするの？

都市計画道路の整備は、歩行者等が安全・安心に利用できる道路空間の確保や防災性の向上、電線類の地中化などによる良好な都市空間の創出を目的としています。駅周辺まちづくりとの連携は必要ですが、駅前再開発を進めることを目的とした道路整備ではありません。

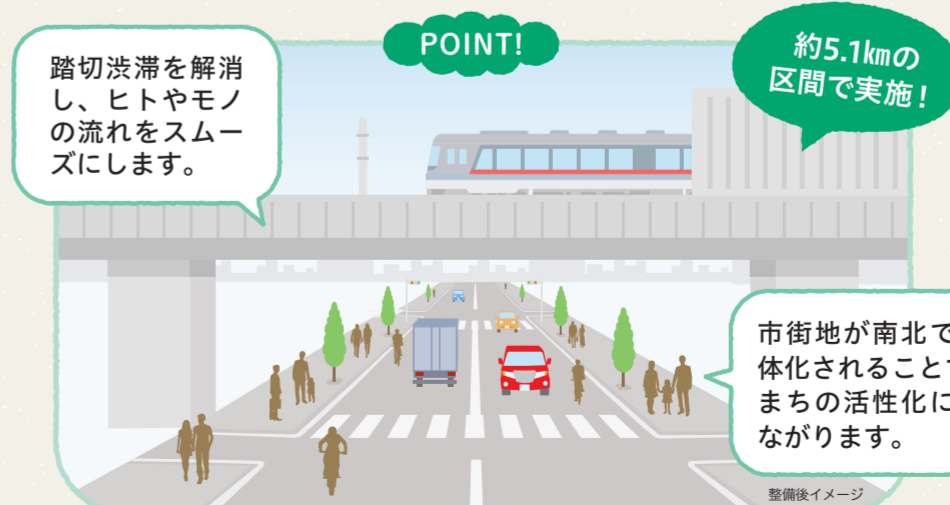
Q 都市計画道路ができると車が増えて危険なのでは？

交通量が増えることも考えられますが、「人」と「車」を分離し、広い歩道や自転車レーンを整備することで、歩行者と自転車利用者の安全性は向上します。また、整備した道路を車が通行することで、生活道路を通り抜ける車が減り、地域の安全性が向上します。

CHECK③ 鉄道の高架化

井草地域 鉄道の連続立体交差化

鉄道の連続立体交差化とは、鉄道を高架化・地下化して踏切をなくすことです。これにより、人や車の往來をスムーズにしてまちの活性化につなげていくことができます。西武鉄道新宿線の計画は、井荻駅付近から西武柳沢駅付近までの約5.1kmの区間です。



杉並区まちづくり基本方針を改定します!

現在の杉並区まちづくり基本方針は、平成25年に策定しましたが、この数年間で私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。これまでのまちづくりの進捗を踏まえて、新たな基本構想に掲げる区の将来像を実現するため、杉並区まちづくり基本方針を改定します。今後は改定に向けて、区民の皆さんからご意見を頂く予定です。広報すぎなみ等で意見募集などについてお知らせしますのでご確認ください。

オープンハウス形式の説明会



今後の予定

